

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	火災現場で火災原因調査中に、目まいが起こり熱中症と診断されたもの。
3. 体験した事例の中心的要素	高温多湿下で14時頃から救助訓練を実施。終了後目まいが起こった。10分程休憩し、水分補給したため改善した。資機材撤収中、火災出動があり、消火活動の必要なく火災原因調査実施中、再び目まいが起こった。上下型防火衣の上衣を開放し、冷房の効いた救助工作車内で休養したが症状が治まらず、四肢の痺れ、頻呼吸が出現したため、中隊長判断で救急搬送されたもの。なお、当日の気象状況は晴れ、気温29.3度、湿度85%であった。
4. 体験した事例の原因・理由	火災原因調査時に再度目まいが起こったが、救助訓練後の休憩時には直ぐ回復したため、大丈夫だと判断し、上司に報告せず活動を続行したことが原因と思われる。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年7月15日 午後7時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他: 目まい、四肢の痺れ、頻呼吸
7. 事例体験時の活動	火災 その他: 火災原因調査中、[]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他: 火災原因調査
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[21]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者 A	休憩を挟みながら救助訓練を行った。	
経過2	当事者 A	目まいが発生したが10分間休憩、水分補給し、回復した。	
経過3	当事者 A	訓練撤収作業を開始した。	
経過4	当事者 A	出動指令により出動した。	
経過5	当事者 A	目まい症状が再発したため上司に報告した。	
経過6	当事者 A	車両内で休憩した。	
経過7	当事者 A	症状悪化し、救急搬送された。	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他：適切な休憩、水分補給ができなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

高温多湿環境での長時間作業だった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

体調に異変を感じたら無理せず上司に報告する。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

安全管理が確保できた段階で、防火衣離脱を図る。活動が長時間に及ぶ場合は計画的に休憩を取る。水分補給を積極的に行う。

○指揮・情報伝達の対策について

体調に異変を感じたら無理せず上司に報告する。部下の言動、表情等に注意し体調不良等の異常を早期に発見する。